

事務事業評価シート(事前評価)

事業コード 8-4-1	事務事業名 既設雨水管台帳の整備(GISの導入含む)	所管部課 都市整備部 下水道課
----------------	-------------------------------	--------------------

施策コード 安2-1	施策名 災害に強いまちづくり	施策目標 市民の生命や財産を守るため、防災基盤の整備を計画的に進め、災害に強い安全・安心なまちづくりをめざします。
---------------	-------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等	
	事業開始時期	平成22 年度 実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	21年度	22年度	23年度	目標 26年度
	事業費(A)				1,575	50,000
内訳	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
	その他 ()					
	一般財源		0	1,575	50,000	134,795
所要人員(B)	人		0.02	0.02	0.12	
人件費(C)=平均給与×(B)	千円		0	163	163	980
臨時職員等賃金(C')	千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		0	1,738	50,163	135,775
単位当たりコスト (E)=(D)/ (台帳整備面積)	千円		#DIV/0!	#DIV/0!	100	86

評価指標の設定	活動等指標	単位	21年度	22年度	23年度	目標 26年度
	市全域の雨水管台帳作成	目標値	式		1	1
台帳整備面積	目標値	ha			500	1,585
(指標の説明 など) 整備面積						
成果指標	一次	単位	21年度	22年度	23年度	目標 26年度
	台帳作製進捗率	目標値 実績値	%			32%
二次	目標値 実績値					
(指標の説明 など) 台帳を整備した面積の割合						

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	平成19年に実施した市民意識調査の中で、集中豪雨等の防災対策の必要性が示されており、溢水地域解消のためにも整備が必要である。 平成20年の下水道審議会においても雨水事業評価を行った際、事業継続・推進することが妥当との意見があった。
	事業実施上における制約や 財源確保等	市の北西部の雨水排水については、「排水管使用に関する覚書」により昭和36年から住友重機械工業の私設管を使用して対応している部分がある。所有者と使用者が異なることから、事業を実施する上で、注意が必要である。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 特になし

事業コード 8-4-1	事務事業名 既設雨水管台帳の整備 (GISの導入含む)	所管部課 都市整備部 下水道課
----------------	--------------------------------	--------------------

施策コード 安2-1	施策名 災害に強いまちづくり	施策目標 市民の生命や財産を守るため、防災基盤の整備を計画的に進め、災害に強い安全・安心なまちづくりをめざします。
---------------	-------------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	3		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	3			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	3			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目		ランク		二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	3			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	近年の都市部における集中豪雨の頻発を踏まえると、本事業により既設雨水管の基礎的な情報を把握できる台帳の整備を行い、引き続き溢水地域を計画的に解消していくことが必要であると考え。特定財源の活用による一般財源の抑制に留意しながら、事業実施されたい。